

# 平成 1 2 年度 事業報告書

(財) 滋賀県水産振興協会

平成 1 3 年 7 月

# 1 事業結果概要

## 1.1 温水魚資源対策

### 1.1.1 ニゴロブナ資源増大対策事業（県補助事業）

この事業は、国庫補助対象事業として実施しているが、平成12年度はその5年目の事業として実施した。

#### 事業目標

国庫補助事業の長期計画にもとづき、全長20mmサイズ4,500千尾、50～80mmサイズ550千尾、120mmサイズ605千尾を放流目標とした。（計5,655千尾）

#### 放流の実績

生産放流時期平成12年4月～10月

放流尾数	全長25mmサイズ	4,993千尾
	全長50mm～78mmサイズ	629千尾
	全長105mmサイズ	681千尾
	計	6,303千尾

#### 放流効果確認実証調査

従来から本調査は水産試験場と共同で実施し、効果の確認実証に努めた。

平成12年度放流魚混獲率（小糸漁獲魚）		37%（途中結果）
（参考）平成11年度	〃	38%
平成10年度	〃	38%

放流魚の混獲率は、平成11年度同様、高いレベルになっており、放流種苗の大型化の効果と見られる。

#### 栽培漁業推進、普及啓発事業

栽培漁業推進協議会の運営、中間育成技術現地研修会の開催、つくり育てる漁業の啓発等に努めた。

### 1.1.2 重要資源増殖事業

ホンモロコの漁獲量は比較的安定していたが、平成8年以降大幅に減少している。本魚種の増殖技法はまだ十分に確立されていないが、当面は量産化

への技術的基礎固めと効率的な増殖技術の開発に努めるとともに、大型種苗を放流した。

親魚の育成確保 通年に亘り零才魚、1歳魚、多才魚の飼育管理と安定生産を行った。

放流の実績 平成12年6月～7月 20 mm サイズ 970千尾を生産放流した。

### 1.1.3 沿整増殖場管理事業（県委託事業 年間）

ホンモロコ、ニゴロブナ等温水魚の繁殖を保護助長するため県が沿岸漁場整備開発事業で設置した12ヶ所の増殖場施設を、その有効適切な活用に資するため、県の委託を受けて定期点検管理を実施した。

### 1.1.4 ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業 4月～7月）

ニゴロブナ、ホンモロコ等の産卵繁殖を保護助長するため、湖北町及び近江八幡市地先に県が指定する保護水面の監視、管理、清掃等の業務を、県の委託を受けて実施した。

## 1.2 鮎資源対策

### 1.2.1 アユ人工河川運用事業（県委託事業 年間）

琵琶湖総合開発後の水位変動に対応して鮎資源の維持培養を図るため県が設置した姉川、安曇川の人工河川施設を県の委託を受けて管理運用し鮎資源の増殖に努めた。

アユ親魚の養成確保（5月～10月）両人工河川養成池で親魚13.5t生産人工河川産卵床へ親魚放流、産卵孵化、仔魚流下等の管理（8月末～11月）

親魚放流量 13.5t + 4.4t（天然遡上親魚等） = 17.9t

流下仔魚数 29.7億尾

両人工河川の通年維持管理

### 1.2.2 アユ保護水面管理事業（県委託事業 7月31日～12月10日）

アユの産卵繁殖の保護水面指定8河川について、県の委託を受けて河口域の河床耕耘による好適産卵場の造成、および産卵妨害行為の監視防除等を実施し、天然河川での産卵繁殖保護に努めた。

### 1.2.3 アユ親魚増殖放流事業（県補助事業）

県下のアユ産卵重要河川へ養成アユ親魚7.5tを放流して、アユ資源培養に努めるとともに琵琶湖漁業の振興とアユ苗の安定的供給を図った。

### 1.3 情報提供事業

漁業者等に水産情報を始め各種の情報提供、交換に努めた。

## 2 貸借対照表

平成 13 年 3 月 31 日

単位:円

科目	金額		
<b>【資産の部】</b>			
流動資産			
現金預金	4,065,200		
有価証券	813,498		
未収入金	2,252,000		
流動資産合計		7,130,698	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	11,000,000		
基本財産合計	11,000,000		
その他の固定資産			
建物	243,986,375		
構築物	423,971,700		
車両運搬具	6,647,055		
什器備品	110,936,743		
船舶	7,700,000		
減価償却累計額	367,541,623		
電話加入権	257,227		
鮎資源対策積立預金	10,000,000		
退職給与引当預金	14,538,045		
温水魚資源対策積立預金	1,221,155,373		
水産加工業振興対策積立預金	200,000,000		
その他の固定資産合計	1,871,650,895		
固定資産合計		1,882,650,895	
資産合計			1,889,781,593

<b>【負債の部】</b>			
流動負債			
未払金	2,281,864		
預り金	676,205		
流動負債合計		2,958,069	
固定負債			
退職給与引当金	14,538,045		
固定負債合計		14,538,045	
負債合計			17,496,114
<b>【正味財産の部】</b>			
正味財産			1,872,285,479
(うち基本金)			(11,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(51,242,048)
負債及び正味財産合計			1,889,781,593

### 3 収支計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日

単位:円

科目	予算額	決算額	差異	備考
<b>【収入の部】</b>				
基本財産運用収入	110,000	110,000	0	
補助金等収入	108,956,698	108,956,698	0	
負担金収入	10,200,000	10,200,000	0	
雑収入	22,850,000	23,151,392	301,392	
特定預金取崩収入	14,454,736	14,454,736	0	
当期収入合計 (A)	156,571,434	156,872,826	301,392	
前期繰越収支差額	4,181,389	4,181,389	0	
収入合計 (B)	160,752,823	161,054,215	301,392	
<b>【支出の部】</b>				
鮎資源増大パイロット事業費	62,842,000	62,841,665	335	
重要資源増殖事業費	1,045,000	874,423	170,577	
沿整増殖場管理事業費	2,130,000	2,130,000	0	
鮎保護水面管理事業費	1,013,000	1,013,000	0	
鮎保護水面管理事業費	4,486,000	4,486,000	0	
鮎人工河川管理運用事業費	42,200,000	42,200,000	0	
鮎親魚増殖放流事業費	10,500,000	10,500,000	0	
管理費	31,730,000	30,941,770	788,230	
固定資産取得支出	500,000	451,143	48,857	
特定預金支出	1,444,000	1,443,585	415	
当期支出合計 (C)	157,890,000	156,881,586	1,008,414	
当期収支差額 (A)-(C)	1,318,566	8,760	1,309,806	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,862,823	4,172,629	1,309,806	

## 4 正味財産増減計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日

(単価：円)

科目	金額		
<b>【増加の部】</b>			
資産増加額			
什器備品購入額	451,143		
退職給与引当預金増加額	1,443,585	1,894,728	
負債減少額			
増加額合計			1,894,728
<b>【減少の部】</b>			
資産減少額			
当期収支差額	8,760		
建物減価償却額	6,805,386		
構築物減価償却額	18,457,503		
什器備品減価償却額	10,982,746		
船舶減価償却額	984,060		
その他積立預金取崩額	14,454,736	51,693,191	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	1,443,585	1,443,585	
減少額合計			53,136,776
当期正味財産減少額			51,242,048
前期繰越正味財産額			1,923,527,527
期末正味財産合計額			1,872,285,479

## 5 財産目録

平成 13 年 3 月 31 日

(単位：円)

(資産の部)			
1. 流動資産			
1. 現金預金			
(1) 現金		25,965	
(2) 普通預金		4,039,235	
(3) 有価証券公社債投信		813,498	
(4) 未収金滋賀県補助金等		2,252,000	
流動資産合計			7,130,698
2. 固定資産			
1. 基本財産			
(1) 投資有価証券			
有価証券公社債投信		11,000,000	
基本財産合計		11,000,000	
2. その他固定資産			
(1) 建物栽培センター関係 5 棟		243,986,375	
減価償却累計額		44,140,398	
(2) 構築物		423,971,700	
初期保育施設		98,300,000	
栽培センター関係		288,753,700	
中間施設筏		36,918,000	
減価償却累計額		228,882,444	
(3) 車輛運搬具			
自動車 6 台他		6,647,055	
減価償却累計額		6,314,703	
(4) 備品		110,936,743	
減価償却累計額		81,315,658	
(5) 船舶 4 隻		7,700,000	
減価償却累計額		6,888,420	
(6) 電話加入権		257,227	
(7) 退職給与積立引当預金		14,538,045	

(8) 温水魚資源対策積立預金	1,221,155,373		
農林債券 3 件	150,470,000		
関西電力債	50,000,000		
転換社債 5 件	271,363,294		
公社債投信等	178,265,287		
中期国債ファンド	60,000,000		
大口定期 1 件	500,000,000		
滋賀銀行 普通預金	11,056,792		
(9) 水産加工業振興対策積立預金			
滋賀銀行 普通預金	200,000,000		
(10) 鮎資源対策積立預金	10,000,000		
転換社債	9,501,238		
MMF	498,762		
その他固定資産合計	1,871,650,895		
固定資産合計		1,882,650,895	
資産合計			1,889,781,593
<b>(負債の部)</b>			
1. 流動資産			
1. 未払金			
沿整増殖場施設			
管理点検事業委託費等	2,281,864		
2. 預り金 社会保険料	674,705		
草津市勤労者互助会	1,500		
流動負債合計		2,958,069	
2. 固定負債			
1. 退職給与引当金	14,538,045		
固定負債合計		14,538,045	
負債合計			17,496,114
正味財産			1,872,285,479

## 6 平成13年度事業計画

### 6.1 ニゴロブナ資源増大対策事業（国・県補助事業）

ニゴロブナ漁獲量の急激な減少に対処して資源の維持と増大を図るため、種苗の生産放流を実施する。大型種苗の生産放流に重点を置き、あわせて放流効果と放流方法の改善に資するため標識調査を実施する。

放流目標：全長2cm 4,500千尾、全長5~8cm 700千尾、全長12cm 605千尾合計 5,805千尾

### 6.2 ホンモロコ資源増大対策事業（県補助事業）

ホンモロコ漁獲量の減少に対して、全長2cm、2,000千尾（県補助1,250千尾、協会750千尾）を県の補助を受けて放流する。あわせて標識調査を実施し、放流効果を把握する。

放流目標：全長2cm 2,000千尾

### 6.3 沿整増殖場施設管理点検事業（県委託事業・年間）

沿岸漁場整備開発事業により設置された増殖施設13ヶ所の管理点検を行う。

### 6.4 ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業・4月~7月）

重要温水魚の産卵繁殖場を守るため、湖北町延勝寺及び近江八幡市牧町地先の保護水面の管理、清掃を行う。

### 6.5 アユ保護水面管理事業（県委託事業・9月1日~11月30日）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定したアユ保護水面区域（8区域）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵ふ化を妨げる行為の未然防止のため監視等を行う。

### 6.6 アユ産卵場造成事業（県委託事業・8月20日~9月10日）

アユ保護水面区域（8区域）において、産卵場を耕耘することにより、産卵に適した河床を造成する。

## 6.7 人工河川管理運用事業（県委託事業・年間）

琵琶湖の水位低下によるアユ資源への影響を最小限に防止し、資源の維持、培養を図るため健全な親魚を養成し、人工河川に放流して効果的に産卵、ふ化、仔魚の流下を助長することによりアユ資源の安定化を図る。

親魚養成目標量：15トン、流下仔魚目標数：70億尾  
（養成親魚量と天然最大遡上親魚量14トンの流下ふ化仔魚数）

## 6.8 アユ親魚河川放流事業（県補助事業）

県下のアユ産卵重要河川へ養成親魚を放流してアユ資源培養に努め、琵琶湖漁業の振興とアユ苗の安定的供給に寄与する。

放流目標量：7.5トン

## 6.9 情報提供事業

「水振協ニュース」「水振協ニュース・速報版」を発行し、漁業者に水産業の情報の提供に努める。

## 7 平成13年度 収支予算書

平成13年4月1日から平成14年3月31日

(単価：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
<b>【収入の部】</b>				
基本財産運用収入	33,000	110,000	77,000	
補助金等収入	110,425,000	108,956,698	1,468,302	
負担金収入	10,200,000	10,200,000	0	
雑収入	19,080,000	22,850,000	3,770,000	
特定預金取崩収入	19,290,177	14,454,736	4,835,441	
当期収入合計 (A)	159,028,177	156,571,434	2,456,743	
前期繰越収支差額	2,862,823	4,181,389	1,318,566	
収入合計 (B)	161,891,000	160,752,823	1,138,177	
<b>【支出の部】</b>				
鮎資源増大対策事業費	57,384,000	62,842,000	5,458,000	
情報提供事業費	110,000	0	110,000	
重要資源増殖事業費	9,305,000	1,045,000	8,260,000	
沿整増殖場管理事業費	2,300,000	2,130,000	170,000	
鮎保護水面管理事業費	929,000	1,013,000	84,000	
鮎保護水面管理事業費	1,806,000	4,486,000	2,680,000	
鮎産卵場造成事業費	2,370,000	0	2,370,000	
鮎人工河川管理運用事業費	43,000,000	42,200,000	800,000	
鮎親魚増殖放流事業費	10,500,000	10,500,000	0	
管理費	28,736,000	31,730,000	2,994,000	
固定資産取得支出	1,200,000	500,000	700,000	
特定預金支出	2,251,000	1,444,000	807,000	
予備費	2,000,000	0	2,000,000	
当期支出合計 (C)	161,891,000	157,890,000	4,001,000	
当期収支差額 (A)-(C)	2,862,823	1,318,566	1,544,257	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	2,862,823	2,862,823	

## 8 役員名簿

(平成13年7月現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	山田新二	評議員	岩崎治臣
副理事長	川森芳一	"	上田純一
常任理事	平塚忠征	"	氏家宗二
理事	栗野圭一	"	小林眞
"	池田才次郎	"	駒井順一
"	今堀治夫	"	齋藤龍次郎
"	小川義隆	"	里井晋一
"	北村勇	"	高尾一郎
"	杉本敏隆	"	辻章一
"	田井中富夫	"	鳥塚五十三
"	茶谷力	"	中川義美
"	東文一	"	中山幸雄
"	松井俊治	"	林英志
"	松田繁雄	"	疋田与一
"	港長治	"	前河孝志
監事	浅井庄平	"	三田伊弘
"	菅沼潔	"	望月幸三
"	辻久一	"	森田秀次